



江戸での浅野内匠頭による刃傷事件の第一報を知らせるため、赤穂藩士、早水藤左衛門、萱野三平が早かで4昼夜半早かに遡られ、結果赤穂城下に到着。その時、両人は、この井戸の水を飲んで一息ついて赤穂城へ向かったと伝えられています。



浅野赤穂藩の家老、大石家三代の屋敷の長屋門で、屋敷は畳数にして308畳の広大な邸宅でした。浅野内匠頭の刃傷事件の際、その知らせを持って早かで駆けつけた早水藤左衛門、萱野三平が実際にたいたいのものこの門です。



浅野長直の指示によって慶安元年(1648)から13年の歳月をかけて築かれた赤穂城は、近代城郭史上非常に珍しい変形輪郭式の海岸平城です。清水門の南にある舟入は船が出入りできるようになっています。



●入園料／無料
●入館料／赤穂市立海洋科学館・塩の国 大人(高校生以上)200円⇒120円 小人(中学生以下)100円⇒ 60円